

平成29年度事務事業評価シート

No.207

平成29年5月18日作成

事業番号	177	担当課等	農林水産課							
事務事業名	農業技術指導員推進活動事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	昭和 63 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P46 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 農業	(3) ふれあい農園・遊休農地の活用	① ふれあい農園の規模拡大
関連する個別計画					
目的	農業の活性化を図るため、農業の専門技術者を雇用し、農業経験のないふれあい農園の利用者及び農家に対して、営農・栽培技術の指導をするもの				
対象	ふれあい農園利用者及び農家				
内容	営農栽培指導				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)			
	事業費		408,000	403,100	408,000			
	人件費	常勤職員						
		非常勤職員等						
		人件費合計	0	0	0			
	総事業費		408,000	403,100	408,000			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		408,000	403,100	408,000			
	財源合計		408,000	403,100	408,000			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
予定指導日数			予算上の指導日		日	40	40	40
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
実施活動日数			実施活動日		日	40	40	40

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	ふれあい農園振興事業とセットのため、ふれあい農園を継続する以上町がおこなうべきものである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	すぐに成果が表れるものではない。継続することで、土とふれあう喜びや作物を栽培する喜びを得ることにより農業に興味を持ってもらう。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	ふれあい農園の利用者にとっては、直接農業指導員から農業知識が学べ指導が受けられるので有効である。また、農業への理解が得られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	ふれあい農園の利用者にとっては、受益は均等である。

平成28年度までの自己評価または改善点	特になし
---------------------	------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	非常勤として来てもらっている。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	農業指導員の、確保を継続的に進めることが今後の事業に影響を及ぼす。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

農業指導員の確保に努め現状を維持しつつ、農家を対象にした農業相談(予約制)を行っていくこと。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.208

平成29年5月18日作成

事業番号	178	担当課等	農林水産課									
事務事業名	農業経営合理化振興事業											
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成	12	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P45 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	Ⅰ 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 農業	(2) 農業経営の高度化の促進	④ 農業経営の安定化の推進
関連する個別計画	湯河原町農業経営合理化振興事業補助金交付要綱				
目的	市場性の高い優良品種みかんの導入、神奈川県奨励する湘南ゴールド及び野菜などの他作物の導入を図り、直売などによる消費拡大を推進し、経営の安定化に寄与する。				
対象	町内農家及び各種団体				
内容	優良品種への更新、改植、土壌改良やイージネットハウス及び鳥獣による農作物被害防止のための防護ネットや防護柵等の購入に補助金を交付するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

	区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
		1,096,393		1,075,415		1,210,000	
コスト	事業費	1,096,393		1,075,415		1,210,000	
	人件費						
	常勤職員						
	非常勤職員等						
	人件費合計	0		0		0	
	総事業費	1,096,393		1,075,415		1,210,000	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	1,096,393		1,075,415		1,210,000	
	財源合計	1,096,393		1,075,415		1,210,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
年間補助額		補助金を活用し経営改善を図られるため。		円	1,100,000	1,100,000	1,210,000
成果指標		指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
年間申請件数		経営改善状況と直接関係するため。		件	70	74	76

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	農家の担い手が減少する中、経営向上意欲のある農家に補助金を交付することで経営の安定化等に寄与するため町で実施すべき事業である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事業の性質上、すぐに効果が表れるものではない。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	より良い苗木を導入することにより、経営の安定化が図られる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	農業経営者で経営意欲のある農家であれば均等である。

平成28年度までの自己評価または改善点	特になし
---------------------	------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	随時、補助内容の見直しを図り、耕作放棄地の解消や農地集積へ繋げていきたい。	
平成30年度以降の方向性	随時、補助内容の見直しを図り、耕作放棄地の解消や農地集積へ繋げていきたい。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

現状を維持しつつ農家へのアピールと必要に応じた補助内容の見直しを検討する必要がある。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	現状を維持しつつ農家へのアピールと必要に応じた補助内容の見直しを検討する必要がある。
---------	---------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.209

平成29年5月18日作成

事業番号	179	担当課等	農林水産課							
事務事業名	ふれあい農園振興事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成 14 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P46 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	Ⅰ 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 農業	(3) ふれあい農園・遊休農地の活用	① ふれあい農園の規模拡大
関連する個別計画					
目的	農業者以外の者が、野菜・花等を栽培することにより土にふれあい農業に対する理解を深めることを目的とする。農家などが自ら市民農園の開設と普及へ繋げ、もって耕作放棄地対策の一助とするため。				
対象	町民及び湯河原町に固定資産を有するもの。				
内容	農地の賃借、農園の維持管理を行っている。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費		1,494,455	1,436,809		1,666,000		
	人件費	常勤職員						
		非常勤職員等	136,950	201,000		209,000		
		人件費合計	136,950	201,000		209,000		
	総事業費		1,631,405	1,637,809		1,875,000		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,631,405	1,637,809		1,875,000		
	財源合計		1,631,405	1,637,809		1,875,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
貸出区画			契約区画数		件数	160	160	160
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
貸出区画			契約区画数		件数	152	152	160

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	個人農家等が実施する「市民農園」に移行したいが、現状として厳しい状況であるため町が行うべき事業である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	土とのふれあいや収穫した喜びは数値化できない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	本来の目的は、農家などが自ら開設する「市民農園」の推進と助言であることから成果は得られていない。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	農園利用者に対して受益の機会は均等である。

平成28年度までの自己評価または改善点	特になし
---------------------	------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	農家もしくは農業生産法人、地方自治体のみが運営できる。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	農家などが自ら開設する「市民農園」の開設に向け、町が開設している「ふれあい農園」をモデルとしてアピールしていく。	
平成30年度以降の方向性	町が開設している「ふれあい農園」をモデルとして継続しながら、個人農家が開設する「市民農園」を新たに開設し、徐々に民間へ移行していく。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

農家が市民農園を開設するためのアピールと初期投資に要する経費の補助を検討する必要がある。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.210

平成29年5月18 日作成

事業番号	180		担当課等		農林水産課						
事務事業名	有害鳥獣等被害対策事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P45 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	Ⅰ 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 農業	(1) 農業生産基盤の整備	③ 有害鳥獣による被害への対応
関連する個別計画	湯河原町鳥獣被害防止計画(平成29年度～平成31年度)				
目的	野猿やイノシシ等の有害鳥獣による農業被害、生活被害等を防ぐため				
対象	湯河原鳥獣対策協議会、JAかながわ西湘湯河原支店鳥獣対策部会及び神奈川県猟友会湯河原方面支部				
内容	野猿、イノシシ等による被害防止対策の推進を図り、町鳥獣対策協議会を中心に、追払いや駆除を実施するための負担金の支出やイノシシ捕獲駆除に対する報奨金を支出している。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		763,714	878,000	1,145,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等	1,500,000	1,500,000	1,500,000		
		人件費合計	1,500,000	1,500,000	1,500,000		
	総事業費		2,263,714	2,378,000	2,645,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		2,263,714	2,378,000	2,645,000		
	財源合計		2,263,714	2,378,000	2,645,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
追払い日数			被害防止対策	日	261	261	261
駆除数				頭	110		175
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
追払い日数			被害防止対策の結果	日	271		261
駆除数				頭	152	207	175

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	法律に基づき、被害防止対策を実施する必要があるため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	野猿の追い払い、イノシシの駆除への助成等を実施したことにより被害が減少しているため効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	被害防止施策を実施することにより、被害を未然に防ぐことはできており、一定の成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	定期的な野猿の追い払いの実施及び通報への対応等により、機会の均等は図られている。
平成28年度までの自己評価または改善点		平成24年7月に野猿追い払い隊を結成し、野猿対策を強化した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	農地のみならず、街中へも侵入してきており各々の町村だけではなく広域的な連携が必要でると同時に、捕獲については県及び町の許可が必要。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	有害鳥獣対策を推進するため、神奈川県西部広域有害鳥獣対策協議会を設立し、協議会で捕獲個体の利用を目的に移動式解体処理車の導入を図る。	
平成30年度以降の方向性	有害鳥獣及び野猿被害が増加傾向にあるため、引き続き追い払い及び捕獲に重点を置き実施する。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	現状を維持しつつ、更なる被害防止施策を検討する必要がある。
------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.211

平成29年5月18日作成

事業番号	181	担当課等	農林水産課							
事務事業名	農林水産まつり開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成 16 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P44 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 農業		
関連する個別計画					
目的	農産物共進会を開催し、生産者の技術の向上及び経営意欲の改善を図る。また、本町の農林水産物を広く町民に紹介し、農林水産業者と消費者の交流を図り、消費の拡大を図る。				
対象	町民、農林水産業者及び近隣市町村の消費者				
内容	農林水産まつり開催に際し、必要な経費の補助を行っている。				

2 実施結果

(単位 円)

		区 分	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
コスト		事業費	800,000	800,000	800,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等					
		人件費合計	0	0	0		
		総事業費	800,000	800,000	800,000		
財源内訳		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		一般財源	800,000	800,000	800,000		
		財源合計	800,000	800,000	800,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
補助金申請額			補助金申請	円	800,000	800,000	800,000
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
補助金支出額			収支決算による	円	800,000	800,000	800,000

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	3	過去にはみかんの品評会として、中央農協、湯河原農協が交互行っていた。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	補助金で事業が賄えるので、効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	町の内外に、農産物や水産物等を紹介できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	事業に参加するもの、または会場に来場するもの全てに受益の機会がある。
平成28年度までの自己評価または改善点		毎年催しが少しづつ入れ替わることにより、来場していただけるようにした。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	過去に共進会とセットのため農協が行った経緯があるが、現在は農協では対応できない。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	平成28年度は、急遽、みかんグルメ&スイーツサミットと同時開催したため、調整がうまくいかなかった。平成29年度も同時開催のため早めに調整を行いたい。	
平成30年度以降の方向性	共進会への出品数を確保すべく、農協及び農家に協力依頼を行う。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	共進会への出品点数を確保することがだんだん難しくなっているため、原因を分析し改善すること。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

「みかんグルメ&スイーツサミット」との連携を調整する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.212

平成29年5月19日作成

事業番号	789	担当課等	農林水産課							
事務事業名	地産地消事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P45 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	Ⅰ 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	Ⅲ 農業	(2) 農業経営の高度化の促進	(4) 農業経営の安定化の推進
関連する個別計画					
目的	農産物の販売を目的とした、朝市等イベント参加、開催、消費拡大に伴うPR活動をする町内の農家等を支援、地産地消の推進する。				
対象	農協女性部、駅前農産物直売運営協議会、JA湯河原営農経済センター				
内容	農産物直売所運営協議会の活動支援、地産表示カードの印刷等				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		1,005,000	67,710	2,000,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等					
		人件費合計	0	0	0		
	総事業費		1,005,000	67,710	2,000,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,005,000	67,710	2,000,000		
	財源合計		1,005,000	67,710	2,000,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
補助金申請件数			予定件数	件	4	4	4
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
補助金交付件数			実施件数	件	2	2	4

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	生産意欲のある農家や団体に対して、町として地場産業の育成・保護は必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	徐々に売り上げを伸ばしており、即効性はないが継続的に行うことにより、消費者に名前、味を周知している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	農業団体の意欲の向上は図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	地域の特性を生かした農産物生産している農家、農家団体にとっては均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		観光イベントに絡めて活動してきた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	農協の支援や農家の努力も必要である。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	湯河原産の地場産品のおいしさ、安全性をより多くの消費者にアピールするため、農業団体等の活動PR等に補助していく。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	地産地消の推進を図ること。
------	----------	---------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.213

平成29年5月19日作成

事業番号	996		担当課等		農林水産課						
事務事業名	農地保全事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成 23 年度	

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P45 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 農業	(2) 農業経営の高度化の促進	① 耕作放棄地対策
関連する個別計画					
目的	農地の確保及び有効性の促進を図る必要から、現在耕作放棄地となっている農地を使用貸借し、景観作物を作付けし農地の保全を図り、農業者、新規就農者への農地の有効利用等の促進を図る。				
対象	町内農家				
内容	菜の花、コスモス等の景観作物を咲かせる。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		229,997	205,300	220,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等	264,000	257,400	278,000		
		人件費合計	264,000	257,400	278,000		
	総事業費		493,997	462,700	498,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		493,997	462,700	498,000		
	財源合計		493,997	462,700	498,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
景観作物の植付種類				種	2	2	1
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
景観作物の植付種類				種	2	2	1

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	耕作放棄地対策として町が行う必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	毎年、菜の花、コスモスが咲き景観がよいと好評を得ている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	毎年花が咲く。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	2	モデルケースとして行っているため、対象となる農地が限られている。
平成28年度までの自己評価または改善点		平成28年度は菜の花を観賞用と食用でエリア分けして栽培した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町の事業ということで、民有地(農地)を貸借させていただいている。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	担い手への農地の利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消に努め、農地の利用の最適化を積極的に推進するように農業委員会等と連携を図る。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	耕作放棄地の発生防止・解消にさらに努めること。
------	----------	-------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.214

平成29年6月7日作成

事業番号	182	担当課等	農林水産課							
事務事業名	農業振興地域整備促進事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	昭和 48 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P110 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の促進	1 土地利用	(1) 適切な土地利用 の促進	③ 農業振興地域 ※整 備計画の見直し
関連する個別計画	農業振興地域整備計画				
目的	社会情勢の変化に伴い、生産性の高い農業団地を確保し育成するため				
対象	農業振興地域内に農地を持つ者				
内容	個別案件に対する諮問				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費		2,376,000		2,375,002		188,000	
	人件費	常勤職員						
		非常勤職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		2,376,000		2,375,002		188,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		2,376,000		2,375,002		188,000	
	財源合計		2,376,000		2,375,002		188,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	農業振興地域の整備に関する法律(農振法)に基づく見直しであり、自治体で基本方針を決定する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	基本方針を策定するための基礎調査である。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	基本方針を策定するための基礎調査であるため有効性はあると判断する。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	法律により諸条件が設定されているため、合致すれば均等である。

平成28年度までの自己評価または改善点	特になし
---------------------	------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町で計画の基本方針を定めるものである。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	除外区域等について県と調整を行う。	
平成30年度以降の方向性	特になし	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	農地の異動状況に注意し、おおむね5年ごとに基礎調査を実施し必要に応じ適宜見直しを図ること。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.215

平成29年5月19日作成

事業番号	1240	担当課等	農林水産課							
事務事業名	人・農地プラン策定事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P45 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 農業	農業の担い手の育成	
関連する個別計画					
目的	地域農業の将来見通し、地域農業の今後の方向性など今後の地域農業のあり方について集落・地区においてプランを作成(見直し)を進める。				
対象	農業者、農業団体、新規就農者、新規参入者(農業法人、企業等)				
内容	プラン策定費用及び地域の担い手、農地の集積化など地域農業の将来に関する意見聴収を取りまとめるための協議会の報奨費				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)			
	事業費		0	1,389,105	54,000			
	人件費	常勤職員						
		非常勤職員等		52,000	82,000			
		人件費合計	0	52,000	82,000			
	総事業費		0	1,441,105	136,000			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金			1,392,760				
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		0	48,345	136,000			
	財源合計		0	1,441,105	136,000			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
協議会・地区懇談会の開催 予定回数			プランの承認、制定につ いての会議回数		回	0	6	4
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
実施回数			同上		回	0	5	4

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	地域農業の未来図を協議する場であるので町がイニシアチブをとる必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	4	目に見える効果はない。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	毎年見直しを行う為効果はある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	意欲のある農家、企業にとっては均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		人・農地プランの策定	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	国からの指導によるもので、地域農業の指標を策定、修正するものであり委託、指定管理にはなじまない。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	プランの見直し	
平成30年度以降の方向性	プランの見直し	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	見直しに際しては、地域性を考慮し幅広く意見を徴すること。
---------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.216

平成29年6月7日作成

事業番号	187	担当課等	農林水産課							
事務事業名	県営土地改良広域農道(小田原湯河原地区)整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	04	事業開始年度	平成 8 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P45 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 農業	(1) 農業生産基盤の整備	② 広域農道の整備
関連する個別計画	広域営農団地農道整備計画、神奈川県地域再生計画				
目的	小田原市、真鶴町及び湯河原町に繋がる広域的な営農団地内の基幹的農道を整備することにより、農作業、集出荷作業の省力化、流通の合理化及び生活環境整備をし、農業振興を中心とした地域の活性化を推進するとともに、災害時等における緊急避難路として安全防災面で強化を図る。				
対象	農業者、町内外の広域農道利用者				
内容	事業主体が県であるため広域農道整備に要する負担金の支出 全体計画:16,974m湯河原町分:3,186m 工期:平成8年度～平成36年度(予定)				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)	
	事業費		23,446,500	11,647,350	11,017,000	
	人件費	常勤職員				
		非常勤職員等				
		人件費合計	0	0	0	
総事業費		23,446,500	11,647,350	11,017,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債		21,000,000		10,800,000	
	その他特定財源					
	一般財源		2,446,500	11,647,350	217,000	
	財源合計		23,446,500	11,647,350	11,017,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
整備延長		整備延長	m	185	20	20
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
整備率(3186m)		整備延長/全体×100	%	5.81	0.63	0.63

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	事業目的から町が関与すべき事業である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	現在2期工事中であり、全線開通したおりには効果は得られる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	現在2期工事中であり、全線開通したおりには事業目的に対する成果は得られる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	事業完了後には、町へ移管されるので農家だけではなく広く住民等も利用できるので公平である。
平成28年度までの自己評価または改善点		既設農道とのすりつけや排水について県との調整ができていなかった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	県事業であるため。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	排水、すりつけについて、県と密に連絡を取り協議して進め、基本的な考え方を示し確認をする。	
平成30年度以降の方向性	生活及び産業の軸となる道路ネットワークを構築することで、農業振興、地域の活性化及び安全防災面の強化を図るため、継続して事業を進めることで早期完成を目指す。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	現状を維持しつつ、早期完成をめざし関係各機関への要望を強化し、事業の継続を推進する。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.217

平成29年5月18日作成

事業番号	188		担当課等		農林水産課						
事務事業名	農道維持管理事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	04	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P45 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 農業	(1) 農業生産基盤の整備	① 農道の整備
関連する個別計画					
目的	修繕・補修等が必要な農道の維持管理を行う。				
対象	町内農道全域				
内容	修繕・補修等に必要な農道の維持管理を行う。 修繕・補修等に必要な作業賃金、修繕費、材料代等を計上				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		4,040,794	20,239,850	2,030,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等					
		人件費合計	0	0	0		
	総事業費		4,040,794	20,239,850	2,030,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		4,040,794	20,239,850	2,030,000		
	財源合計		4,040,794	20,239,850	2,030,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
実施件数			修繕を必要な個所	件	13	8	6
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
実施件数			修繕の完了した箇所	件	13	8	6

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	農道利用者の安全な通行を確保するため維持管理は、町の責務である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	農道の補修や草刈り等を行うことにより、道路としての機能が保たれる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	施設老朽化の対応として有効である。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	主要な農道は、農家のみならず一般の人が利用をしている状態であり、利用者にとって均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	農道のパトロールを行い不良個所の早期発見に努め、初期の段階で対応することで修繕費用の削減に努める。	
平成30年度以降の方向性	交通事故及び自然災害の未然防止のため、パトロールを強化し不良箇所の早期発見に努める	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	農道の老朽化などに伴い、道路補修など地域からの要望が増えてくると予想されるので、効率的、効果的に維持管理をしていくこと。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.218

平成29年6月7日作成

事業番号	192		担当課等		農林水産課						
事務事業名	松くい虫被害対策事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	01	事業開始年度	平成 2 年度	

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P48 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	I 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	4 林業	(1) 林業基盤の整備	(2) 生活環境保全林の整備
関連する個別計画	平成24年度 松くい虫被害対策自主事業計画(平成24年度～平成28年度)				
目的	松くい虫被害対策実施計画に基づき、被害立木を把握するため調査の実施と併せて、森林区域内の松くい虫被害立木の伐倒駆除を実施するとともに、樹幹注入剤を使用して被害の拡大を防ぐもの				
対象	町内(指定区域内)				
内容	松くい虫防止樹幹注入剤の購入費、害虫調査委託料及び被害立木伐倒委託料を計上。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費		639,800	397,320		54,000		
	人件費	常勤職員						
		非常勤職員等						
		人件費合計	0	0		0		
総事業費		639,800	397,320		54,000			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金		220,000	114,000		0		
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		419,800	283,320		54,000		
	財源合計		639,800	397,320		54,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
駆除予定			計画		本	20	11	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
駆除実績			実績		本	20	11	0
樹幹注入					本	24	0	0

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	森林病虫害等防除法の趣旨に基づく、神奈川県松くい虫被害対策事業推進計画を受け、松くい虫の駆除またはまん延を防止する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	実施した区域では、被害の拡大が減少傾向にあり、費用にみあった効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	被害が減少している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	
平成28年度までの自己評価または改善点	平成14年度松くい虫被害対策自主事業計画策定(H14～H18) 平成19年度松くい虫被害対策自主事業計画策定(H19～H23) 平成24年度松くい虫被害対策自主事業計画策定(H24～H28)		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町有林については、事業終了であるため今後は、町施設にある松の被害防除のため薬剤の樹幹注入が必要である。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	町有林については事業を終了し、今後は町施設にある松の被害防除のため薬剤の樹幹注入が必要である。	
平成30年度以降の方向性	樹幹注入剤を購入し、町施設内にある松の被害防止に努める	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(縮小)	今後は、被害防除のため計画的に樹幹注入剤を注入し、松枯れを防ぐこと。
------	--------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.219

平成29年6月7日作成

事業番号	700		担当課等		農林水産課						
事務事業名	地域水源林整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	01	事業開始年度	平成 19 年度	

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P48 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	I 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	4 林業	(1) 林業基盤の整備	③ 育林の指導援助
関連する個別計画	第3期 市町村5か年計画(地域水源林整備) (平成29年度～平成33年度)				
目的	神奈川県は、「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」及び「かながわ水源環境保全再生実行5か年計画」を基に、水源地域の自然環境再生の取組を平成19年度から実施しており、当町においても県の5か年計画に合わせた「地域水源林整備事業」により町有林、私有林を含めた間伐等を実施し、水源林の保全・整備を推進するもの				
対象	町内地域水源林指定全域				
内容	町有林については、間伐等の実施、私有林については長期受委託による補助金を県森林組合連合会に支出				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		47,343,502	40,384,916	48,593,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等					
		人件費合計	0	0	0		
総事業費		47,343,502	40,384,916	48,593,000			
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金		47,300,000	40,200,000	48,300,000		
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		43,502	184,916	293,000		
	財源合計		47,343,502	40,384,916	48,593,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
実施面積(町有林)			年度ごとの整備面積	ha	8.8	6.4	9.0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
整備率(5か年計画面積44.6ha)			整備面積／全体×100	%	19.7	14.3	20.2

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原町森林づくり条例において町の責務として位置づけられている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	水源環境保全税を原資として森林整備を図ることにより、水源かん養など公益的機能の高い森林づくりができた。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	継続的に事業を進めることで水源かん養や土砂流出防止、生物多様性の保全などが図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	水源の環境保全に役立つため、水道利用者に恩恵があり、公平性は高い。
平成28年度までの自己評価または改善点		第3期市町村5か年計画(地域水源林)を策定した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	100%県費補助の事業である。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	第3期市町村5か年計画の推進	
平成30年度以降の方向性	水源林の確保・整備を進めることで、引き続き水源かん養など公益的機能の高い森林づくりを目指す。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	森林の整備を行うことにより、保水力の維持、水源の確保、大雨による土砂流出、流木等による被害を防ぐことは重要であるため、計画的に継続していく必要がある。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.220

平成29年5月18日作成

事業番号	780	担当課等	農林水産課							
事務事業名	桜郷地区森林整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	01	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P47 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	Ⅰ 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	4 林業	(1) 林業基盤の整備	② 生活環境保全林の整備
関連する個別計画					
目的	対象地が夫婦の桜に隣接していることから、梅の宴終了後に桜が開花することにより、新たな花の名所として切れ目のない集客が期待できる。				
対象	町有林				
内容	桜郷地区森林の維持管理(草刈等)				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費		392,200	200,000		400,000		
	人件費	常勤職員						
		非常勤職員等						
		人件費合計	0	0		0		
	総事業費		392,200	200,000		400,000		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		392,200	200,000		400,000		
	財源合計		392,200	200,000		400,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
維持管理面積			桜の木に改植した面積		ha	1	1	1
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
実施面積			維持管理作業を行った		ha	1	1	1
			面積					

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町有林であるため町が実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	維持管理に必要な下草刈りであるので、効果は目視できる。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	下草刈りを行うことにより、良好な林地環境を維持している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町有地であるため、均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町有地である。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	維持管理については、今後も継続して行っていく。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	森林整備として桜の木へ改植したので、維持管理をしっかり行っていくこと。
---------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.221

平成29年6月7日作成

事業番号	195		担当課等		農林水産課						
事務事業名	林道維持管理事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P48 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	4 林業	(1) 林業基盤の整備	① 林道の整備
関連する個別計画					
目的	林道の安全性を確保するため、維持管理を行うもの。				
対象	町内全域林道				
内容	林道の維持管理に関わる修繕料を行うとともに、宮下生産森林組合及び城堀生産組合へ林道の清掃作業等を委託している。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費	1,294,040	494,400	1,500,000		
コスト	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	1,294,040	494,400	1,500,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,294,040	494,400	1,500,000		
	財源合計	1,294,040	494,400	1,500,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
実施件数		修繕の必要な箇所	件	3	1	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
効果件数		修繕の完了した箇所	件	3	1	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	林道は町が管理しているため、林道利用者の安全な通行を確保することは町の責務である。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	4	道路としての機能が保たれるため効果は得られている。
類 似 性	他事業との類似はないか	4	
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	部分的な対応となるが成果は得られていると判断する。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	利用者が限定されるものではないため公平である。
平成28年度までの自己評価または改善点		特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町管理の林道の維持管理である。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	特になし	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	日頃からのパトロールを重視し維持管理に努めること。
---------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.222

平成29年5月17日作成

事業番号	199	担当課等	農林水産課							
事務事業名	幕山保安林地域整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	03	事業開始年度	平成 2 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P48 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	I 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	4 林業	(1) 林業基盤の整備	② 生活環境保全林の整備
関連する個別計画					
目的	幕山保安林内(梅林)を良好に保つため剪定及び施肥を行うもの。				
対象	幕山保安林内(梅林)				
内容	幕山保安林内(梅林)の下草刈り、剪定、施肥等				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)	
	事業費		13,102,090	13,478,873	14,890,000	
	人件費	常勤職員				
		非常勤職員等				
		人件費合計	0	0	0	
総事業費		13,102,090	13,478,873	14,890,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		13,102,090	13,478,873	14,890,000	
	財源合計		13,102,090	13,478,873	14,890,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
整備面積		整備面積	ha	7.2	7.2	7.2
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
整備率		整備面積／全体×100	%	100	100	100

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	保安林(梅林)の整備は、観光資源の観点からも必要不可欠となっており町が整備することは必要である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	効率的な剪定を行うことにより効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	整備を充実することにより、良好な状態での観光等への活用が図られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	梅林は年間を通じて開放されているため受益の機械は均等である。

平成28年度までの自己評価または改善点	梅輪紋ウイルス検査を行った。
---------------------	----------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	保安林でもあり、一部民地(農地)もあるので、町で行うべきものである。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	引き続き学識経験者の指導を受け適切に管理を行うとともに、ウメ輪紋ウイルスの検査を実施し町の観光資源である梅林の維持管理に努める。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	梅林は町の重要な観光資源であり、継続的かつ適切な管理を行っていくこと。
---------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.223

平成29年5月18日作成

事業番号	202		担当課等		農林水産課						
事務事業名	漁業振興対策事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	03	目	01	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P50 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	5 漁業海業	(3) 漁業	② 整備の近代化の促進
関連する個別計画					
目的	漁業振興のため、福浦漁協が実施する経営改善、近代化事業等に対して助成する。				
対象	福浦漁業協同組合				
内容	倉庫の屋根補修、しら材取り替え、海水ポンプ修理等				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		950,000	950,000	950,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等					
		人件費合計	0	0	0		
	総事業費		950,000	950,000	950,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		950,000	950,000	950,000		
	財源合計		950,000	950,000	950,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
補助金支出金額			補助金申請による	円	950,000	950,000	950,000
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
実績報告			実績報告による	円	950,000	950,000	950,000

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町管理の漁港であるので、施設についての維持管理は町が行うべきである。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	施設の維持管理に使用されているので、効果は確認できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	主として施設の維持管理修繕に使用されているが、事業は計画的継続的に行っていく必要がある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	漁業協同組合及び組合員であれば均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	助成金として支出している。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	町補助金交付要綱に基づいて、補助金を支出する。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	漁業振興に向けた事業を展開できるよう指導していくこと。
---------	----------	-----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--